

がんばるけん！

くまもとけん！

防災課 ☎66♦1208



傾斜した民家(熊本県益城町)



突然の災害 あなたなら……？



地盤ごと崩れた店舗(熊本県益城町)

平成28年4月14日午後9時26分に最大震度7を記録し、その後も強い揺れが続いた熊本地震から4カ月が過ぎました。

蒲郡市も近年、南海トラフ地震が心配されています。被害を最小限に抑えるためにいま一度、自分の身の回りを見直してみましょう。

揺れの被害って？

東日本大震災では津波に注目が集まりましたが、熊本地震では亡くなられた方の原因の約7割が「家屋・家具類の倒壊による圧死」でした。

また、阪神・淡路大震災で亡くなった方の原因の大部分も「圧死」です。

地震は、いつ、どこで発生してもおかしくありません。熊本地震同様、震度7の地震が発生すれば、皆さんの身の回りのほとんどの家具が倒れてきます。そのため、被害を防止するには家具を固定することが効果的です。

津波の避難は？

今回の熊本地震では、結果として津波の被害は報告されていません。しかし、過去の雲仙岳の崩落では対岸に大津波が押し寄せたことから「島原大変、肥後迷惑」という言葉が伝わっているそうです。津波に対しては、海や川から離れ高台に避難することが重要です。「より早く」「より遠く」「より高く」避難するよ

備えるとは？

家庭では「3日分以上(可能な限り1週間程度)」の食料の備蓄が必要だと言われています。備蓄食料というところ「気が付いたら消費期限が大幅に過ぎていた」といった失敗が起こりがちですが、そんなときにはローリングストック法が有効です。

ローリングストック法とは

日常的に非常食を食べ、食べたその分買い足すという方法。それを繰り返し備蓄することで、家庭の負担軽減にもなります。

想定外って？

今回の熊本地震では九州で震度7が2回起きたことへの驚きや、「まさか九州で大地震が…」といった声が聞かれます。

ハザードマップなどで示されている震度分布や津波浸水予想区域はあくまでも予想です。予想区域から外れているからといって、安心ということではありません。

また、これまでの知識や経験に頼りすぎることにも危険なので注意しましょう。